



2019年度、園生活は穏やかに楽しく過ごせましたが世の中では自然の事象が崩れ、たくさんの被害が出ました。そして先般から重要な問題の感染症・・・人間の力ではどうしようもない様々なことが起こっています。世界中ではAI化していこうとする現象でありながら自然被害に対しては太刀打ち出来ないこと。結局は人と人が信じあい力を合わせて立ち向かい解決策を講じていくしかないのでしょう。ひとり一人ができる小さなことも大切に皆で考えていくことも重要だと思います。そして一日も早い収束を望みたいです。

感染症対策では大変不便をおかけしますが、先日お便りを出させて頂きました。

- 1) 毎日の登降園での丁寧な手洗いの励行
- 2) お迎え後、速やかな降園（必要最低限の時間で終わらせる。）
- 3) 体調管理及び、毎日登園時の検温
- 4) 微熱のある場合は登園しない

少し面倒ですがご協力いただきたいと思います。場合によっては行事の変更や園を休園しないといけない場合も起こりうるでしょう。家族でいろいろな場合の対応を話し合ってくださいと思います。2019年度の園生活も最終となりましたが、まずは子どもやご家族の健康管理をしていただき、園では衛生管理を徹底して3月を過ごしていきたいと思います。

今年は、だいちのスカイツリーの興味から話し合い「姫路城～昔の人の暮らし」へとどんどん不思議や知りたいことが広がってきました。0歳児クラスのめばえさんも園生活が始まり、家族以外の大人に出会い、信頼が築け今では一人でも園庭を自由に行き来できるようになりました。

一年は過ぎてみればあっという間ですが、お子様ひとりひとりの過ごしてきた園生活は躍動感にあふれる日々を過ごしてくれました。大人は毎日忙しくバタバタしてしまったり一日の終わりを振り返りますが、子どもたちは行動を振り返ることはあまりありません。保育園から帰り、美味しいごはん・お風呂が終わると眠るが生活の流れです。子どもの毎日はその時にやってみようから始まり⇒もう一度やっている時にやったことがあるに気づき⇒工夫したり、やり方を変えてみたり⇒そして面白かった・またやろう・やっぱりやめよう…と遊びの中で自分の興味関心がわかっていきます。与えられたものと出会うより自ら出会った出来事には集中して取り組め次々に発見していきます。

かえでの生活はワクワクドキドキをどれだけ体験していけるかを職員は「大丈夫やっぺらん！」の心を届けるとともに環境を仕掛けていき、大人（保護者の方々とは時には園に関係する業者の方）も巻き込みながら進めています。毎年毎回同じことはなく、その時のお子様の思いを進めていくことは気づけば大人もワクワクドキドキできる毎日に代わっています。ご協力、そしてかえでの保育のご理解をいただきありがとうございます。思い出いっぱい、子どもたちの生きる力もそれぞれしっかりとつきました。

3月を迎え、一年が終わろうとしています。「あ～！！楽しかった。またやろうね！」の気持ちを大切にこれからも保育・教育を進めていきたいと思っています。今年の私たちの思いは嵐が歌ってくれました。

「君が笑えば、世界は輝く。誰かの幸せが今を照らす。僕らの喜びよ、君に届け・・・」

「大丈夫、鳥は歌っている・大丈夫、空は輝いている・大丈夫、水は流れている・大丈夫、海は光っている・大丈夫、君と笑っていく・大丈夫、君と歩いていく・・・」

これからもずっと「大丈夫」の言葉を合言葉にしながら職員とともに共育していきたいと思っています。今年度もありがとうございました。

そしてだいちの15名の子どもたち・様々な思いを胸に社会に羽ばたいていってください。

2019年度の仕上げの3月となりました。それぞれ成長された子どもたち。事務所を覗いては「これを作りたいけど、どうしたらいい?」「〇〇貸して下さい」としっかり伝えてくれます。写真が撮りたくなれば「子ども用のカメラ貸して」など、保育者がいなくても、年上の子が年下の子を連れて来てくれることもあります。私の前で「言える?」「先生にいつてみたら?」「せいのー」と励ましてみたり、言えた時には「すごいねー」と褒めてくれたりと、子どもたちの園生活には欠かせない事務所になっているようです。

先日の「たのしいかえでの日」には、多くの皆様にお越しいただきありがとうございました。子どもの作品は一人ひとりが思いを込めて作り、遊びを通して楽しんだ結果が作品となっています。いぶきぐみのお子さまの祖父母の方が、先日、孫を連れて3人で姫路城に行った時、孫が姫路城を見て、ずっと「だいちさんのお城、だいちさんのお城」というので「これは姫路城よ」と話したのですが、今日のみなさんの作品を見て、異年齢で過ごしている生活から「保育園のお城」を楽しんでいたことがわかりました。とすてきなお話をして頂きました。生活や遊びを通して子ども同士でつながりを見つけていたことに嬉しく思いました。

いよいよ卒園、進級、一日一日を大切に元気に過ごしていきたいと思えます。

主幹保育教諭 藤森 寿美

先日、5年の勤労を西宮市より表彰され、図書カードをいただきました。普段本を読まない私にとって漫画や雑誌以外の使い道は思いつきませんでした。せっかくなら!と本屋さんで自分の欲しい本を探すことにしました。悩んだ結果、手に取ったのは「うまくいっている人の考え方」という本でした。

自分の望むような人生を生きていくために、どのような考え方をすればいいのかが書かれており、“人生がうまくいっている人の特徴は「自尊心」が高いことだ”、“自尊心のある人は常に自信に満ちあふれ、失敗やまちがいを犯しても、それを前向きにとらえて次のステップの土台にする心の余裕がある”と書かれていました。

この仕事をしていると「自己肯定感」「自尊心」という言葉は日頃から親しみ慣れていたもので、本を読み進めながら当たり前のことだと特に何も思いませんでした。しかし、あらためて読んでみると「分かったつもり」「出来ているつもり」になっている自分に気付きました。それは自分の行動に表れているのか、つい相手に対して、自分に対して否定的に考えることはないかを振り返ると「つもり」になっている自分に気付きました。この本をきっかけに当たり前のことを当たり前に出来る大人になろうという目標もできそれぞれの人とかかわるときのポイントが見つかりました

今のお部屋で過ごすのもあと1か月となりました。肯定的な気持ちを大切にしていきたいと思えます。

乳児リーダー 谷角早紀

## ～めばえぐみ～

ねらい：「見守ってもらいながら自分でやってみる」「友達との関わりを楽しむ」

う た：「はるがきた・おはながわらった・オヤユビネムレ・イッチクタッチク」

入園した4月は担任の側を離れなかった子ども達が、今では一人で思い思いの場所へ駆けて遊びに行っています。行く先々で新しい発見をしたり、遊びが深まったり、お友達との関わりを楽しんだりしている姿にこの1年の成長を感じました。この1年、子ども達の成長を保護者の方と一緒に感動することが出来とても嬉しかったです。来年度からの成長もとても楽しみにしています。

### みんなでさんぽ♪

少し暖かい日には公園や道を挟んだ向かい側にある住宅展示場へお散歩に出かけました。子ども達みんなお散歩が大好きで、バギー置場の鍵が開くとすぐに気が付いて「まだ～？」とフェンスを揺らしながら待っていてくれます。どんどん歩行が上手になっていて、住宅展示場へは全員歩いて向かいました。公園へのお散歩ではこれまでバギーを使用していましたが、何人かは先生と手を繋いで歩いて向かいました。道中では花を見つけたり、バスや歩行者の方に手を振ったり、短い距離でも子ども達にとっては出会いや発見が沢山ありました。

公園に着くと、みんな目をキラキラさせながら自分の気になったところへ探検に出かけます。お店屋さんの中に入って「ばあ！！」とお友だち同士で笑い合ったり、水たまりから上がる飛沫を楽しんだり、広い公園の中を走り回ったり…身体を思いっきり動かして遊びました。沢山動いて遊ぶ事が大好きなめばえさん。少しずつ暖かくなってくる3月をもっとたくさんお出かけしたいと思います。



### お兄ちゃん・お姉ちゃんと

朝や夕方にお手伝いとして、幼児さんがお部屋に遊びに来てくれていました。初めは「だあれ？」と緊張気味だった子ども達ですが、繰り返し遊んでもらうことで少しずつ距離が縮まり、今では園手で会うと自分から「一緒に遊ぼう」「これして～」と近づいて行くほど仲良しになりました。

お世話をしてもらう中で、お兄ちゃん・お姉ちゃんに優しくしてもらう心地よさを感じているからか、最近では、ままごとコーナーでは人形の顔を覗き込み、お世話をしてあげる姿も見られます。「ねんね」とバンダナを掛けてとんとん寝かしつけをしてあげたり、ぎゅーっと抱きしめてあげたり…自分のしてもらった嬉しいことを再現しているようです。

子ども達の中に残る楽しいこと、嬉しいことがもっとたくさん増えていくよう、毎日元気いっぱい過ごしていきたいと思います。



### “担任の思い”

3月になり、いよいよめばえ組で過ごす最後の月となりました。4月から比べ生活の中でも、遊びの中でも自分で出来ることが沢山増えましたね。できることが増えていくと同時に「自分でやりたい」という気持ちも少しずつ出てきています。ふたば組へ向けて、やりたいの気持ちを大切にしながら傍で見守り、一緒に出来た喜びや難しさに共感していきたいと思います。

## ～ふたばぐみ～

ねらい：「友達や保育者と言葉のやりとりを楽しむ」「つぼみ組になることを楽しみに思う」

う た：「かえで保育園園歌」「どんな色がすき」

わらべうた：「らららぞうきん」「さよなら」

暖かくなったり寒くなったり不安定な日々が続いていますが、子ども達は毎日元気に遊んでいます。暖かい日には散歩に行くことも出来ました。今までバギーに乗っていた子も、園の周りを歩くところから始めて、交通公園までの道もしっかり歩くことが出来るようになりました。園庭でもなるべく裸足で遊ぶように声をかけていて、足の力がどんどんついてきているようです。これからも暖かい日にはたくさん散歩に出かけていきたいと思います。

### “もう一人で出来るよ”

食事中のエプロンを外して食べていく子が多くなってきました。ある日女の子に「〇〇ちゃんは、上手に食べられるようになったから、もうエプロンはしなくても大丈夫だよ」とご飯の前に伝えると、「うん！もうお姉ちゃんだからね！」と嬉しそうにニコニコしながら応えてくれました。その日から毎日ご飯の前には、「もうお姉ちゃんだからエプロンいらないの」と教えてくれます。エプロンをつけていた時よりも、こぼさないように丁寧にスプーンを口に運ぼうと頑張っています。食後には「見て！もう、こぼさないよ」と嬉しそうに綺麗な服を見せてくれます。いつもしていたエプロンがなくなることで、不安になるのではなくもっとやってみようという女の子の気持ちに感動しました。ちょっとしたきっかけや保育者の「できたね！」「見ているよ」などの言葉であっという間に自信を持って力を発揮する子ども達です。



子ども達の自信に繋がるような出来事や言葉を大切にして関わっていきたくと改めて感じました。

### “大好きなお兄さん・お姉さん”

園庭で遊ぶ時間が大好きな子ども達は幼児のお兄さんお姉さんが降りてくると大喜びです。走り回る姿をにこにこしながら見ていたり、一緒になって後を追いかけたり、幼児さんの方から「一緒にしよう！」「こっちおいで！」と遊びに誘ってくれることもよくあります。同じクラスの子と遊ぶのも楽しいけど、いつもとちょっと違うダイナミックな遊びを一緒に出来るお兄さんお姉さんも大好きです。優しくしてもらったり一緒に遊んだ記憶が少しでも子ども達の中に残り、大きくなった時に思い出してお友達に対して優しく出来る人になってくれたらいいなと思います。



### “担任の思い”

ふたば組で過ごすのも残り1ヶ月となりました。4月の時と比べて「自分でする」「これもできるからみてよ！」と何でも自分でしたい気持ちが強くなってきています。エプロンはずして食事を進めていくことで、「もうすぐつぼみ組だからエプロンしなくてもいいの」とつぼみ組になることに期待を膨らませている様子も見られます。これからも子ども達の出来ていること・出来るようになったことをたくさん見つけて、具体的な言葉で伝えていき、子どもたちの自信を育てていきたいと思います。

つぼみ組になって、これからどんどん体も心も大きくなっていく子ども達の成長が楽しみです！

原田 千尋・林 千紗・安藤 由佳

## ～つぼみぐみ～

ねらい：「自分の思いを伝え合い、友達同士の関係を深めていく」

う た：「かえで保育園 園歌・はるがきた・ととけっこー」

「一緒に遊ぼう！」「何して遊ぶ？」と友達を誘い、互いに話し合いながら遊ぶ中で一緒にいることを楽しんでいます。泣いていたり、困っているときは「どうしたの？大丈夫？」と優しく声を掛ける姿も見られ、友達との関わりも深まってきています。遊びや生活を通して一緒に考えることも増えました。そんな姿をそっと見守り、時には手を差し伸べながら子どもたちの成長を日々感じています。

### ～元気いっぱい～

1月から園庭で体操を行っています。寒い日や暖かい日と気温の差がある季節でしたが子どもたちは元気よく身体を動かしています。最初は松岡先生から逃げていましたが、2月では逃げるだけでなく、よけたりタッチされたらしゃがむなど松岡先生の話をよく聞いてルールを理解しようとしながら取り組む姿が見られました。園庭で遊んでいるときも、「鬼ごっこ」や「だるまさんがころんだ」など保育者や友達を誘って遊んでいます。ルールが分かると、「鬼やりたい！」「10数えてね」と話しながら行っています。最近ではボール遊びや野球にも興味を持ち、2人組で声を掛け合いながら友達同士で遊ぶことを楽しんでいます。



### ～ピーナッツかぼちゃ～

お友達が持ってきてくれたピーナッツかぼちゃを使ってクッキングをしました。以前も大きなかぼちゃでクッキングをしたことがあったため、かぼちゃの中身に興味津々でした。手に持った時は「なんだか長いね」と話しながら断面や種はどうなっているのか気になっていました。保育者が包丁で切る前に、使い方を聞くとよく覚えていて手を丸め「こうするんだよ」と教えてくれました。かぼちゃを切って出てきた種を見ると以前のかぼちゃの種を思い出したようで「同じ形だ！」と話していました。今回は保育者と共にピーラーを使って皮をめくりました。使い方を知り上手に皮をめくることが出来ました。めくった皮を黒画用紙に乗せ模様も楽しんでいました。「甘いね！」と話しながらおいしく食べていましたよ。

### ～散歩～

久しぶりのお散歩で、わくわくしながら友達と手を繋いで東三公園に行きました。公園に着くと、咲いている花を真っ先に見つけて駆け寄り「綺麗だね！」「これ何だろう？」「ちょうちょいらないかな？」と友達と話し合う姿は可愛らしかったです。「だるまさんがころんだ」やしっぽとり、野球など保育者や友達と一緒にたくさん身体を動かして遊びました。木の実や枝を拾っていると「なんの木かな」と疑問を持つ声が聞こえました。桜の木だと伝えると「咲いてないね」とつぶやいていました。保育者が「つぼみが出てるよ」と話すと「あ！ここに咲いてる！」と目を大きくさせて発見！「たくさん咲いかな」「早く見たいね！」と楽しみにし、子どもたちと共に春の訪れを感じました。



### “担任の思い”

4月のことを思うと本当にあつという間で、もうすぐいぶき組になることが楽しみな反面、少し寂しい気持ちもあります。自分で着替えられるようになったり、友達と一緒に遊ぶことが楽しいと感じるようになったりと一年間で生活や遊びでも出来ることが増えました。つぼみ組で過ごすのも後一か月ですが、一年間を振り返りながらいぶき組に向けて一緒に楽しく過ごしていきたいと思えます。

日笠 加菜・星加由美子・山本あかね

## ～いぶきぐみ～

ねらい：『大きくなること、大きくなったことを喜び』『健康に過ごす方法を知り、生活の中に取り入れる』

う た：『がんがん』『うれしいひなまつり』『ぼくたち今日からともだちだ』

暖かい日にはつき山で寝転んだり、2階のテラスに出てみたり、「春みただね」と3月がやってくるのを楽しみにしていました。そして室内では、「だいちさんをびっくりさせようね」「ないしょにしとこうね」といぶきさん、ひかりさんで作った大きな積み木のお城が登場しました。どこが天守閣など難しいことは分からなくとも、見よう見まねで積み方を習得し、お城を作れたことが嬉しかったようです。また、喜んでくれる人のことを想像しながらがんばることの楽しさを、あそびの中で感じられたようでした。3月は次年度への移行時期にもなりますが、子どもたちには気負わず、わくわくとした気持ちで4月を迎えて欲しいと思います。

### “鬼ごっこシリーズ”

みんなが経験する“おにごっこ”子どもたちの中でも様々なルールがあるのですが、いぶきさんは“鬼役の人は追いかけてタッチをする”“鬼でない人は逃げる”というところから始まりました。最初はルールを理解するのもそれぞれのペースがあり、何度も繰り返すことでみんなで楽しめるようになればと見守っていましたが、初めてのことを一つずつ習得していくいぶきさんの姿が可愛くてたまりませんでした。2人の鬼を決めて始めたはずの鬼ごっこ、いつの間にか鬼だらけになっていたり、友だちにタッチされたのが嫌で止めてしまったり、タッチされているのに「そんな、なしやで」と謎の理由で逃げ続けていたり…

それぞれが“自分流”で行っていた鬼ごっこも、何度も行いどちらの立場も経験することで、何とかゲームとしてみんなで楽しめるようになりまし。だいちさんのように見通しがつくようになると、“鬼=なかなか捕まえられず大変”というイメージを抱いている子もいるようですが、いぶきさんはまだ鬼がしたい！という気持ちが強いようで、張り切って手を挙げてくれます。しかし体育あそびでは楽しんで行っている、普通の園庭あそびでは鬼ごっこを楽しむ姿はほとんど見られませんでした。

そんなある日のこと、この日はだいちさんが園外へ出かけ、ひかりさんも室内で過ごしており、園庭にはいぶきさんだけです。何気なく数人の子と追いかけてお話をしていると、「鬼ごっこしたい。」「氷おにががいい」と声があがりました。いぶきさんだけでどのように進めていくのだろう…と様子を見てみると、「はい、みんな足出して」と一人の子の言葉で鬼決めが始まりました。「いろはにほへと、ちり、ぬ…る…と…？」何だか呪文のようになりながらも自分たちで鬼を決め、固まってしまった友だちを急いで助けに向かう姿も見られました。

鬼を交代して行いましたが、最後は「まだやりたかった」と声上がる程、夢中になっていたようです。いぶきさんの鬼ごっこあそび、きっとお兄さんお姉さんとあそぶ中で吸収したり、経験の中で学びながらこれからもっと楽しさが増していくことと思います。

### “ちからを合わせて”

久しぶりにいぶきさんで集まろうとなったある日のこと、着替えを終え順に2階のフリールームへ集まっていきました。「この部屋で、いぶきさんみんなでお話できるようにしたいの。用意、お願いできるかな」と声をかけると「うん、わかった！」と張り切った様子です。まずは椅子を重ね始めてくれました。みんなで話をする=部屋を広くすると思いつき、工夫してくれたことにも頼もしさを感じたのですが、その後机の上のおもちゃのパーツの色分けに取り掛かりました。片付けてきれいにすることにも気付いてくれたようです。そして、「机があると狭くてみんな座れないなあ…」と呟くと、「よし、みんなで運ぼう！」「そっち持って」と声を掛け合い机を移動し始めたのです。重たそうな友だちの表情を見るとすかさず駆けつけてくれる子の姿もありました。「わっせ、わっせ」かけ声を響かせながら机を運ぶいぶきさんは、机を“片づけている”のではなく、力を合わせることを“楽しんでいる”ように感じられました。

### “担任の思い”

4月から始まったいぶき組としての毎日、いぶきさんの愛おしい姿も、葛藤する様子も、喜ばしい瞬間も、沢山の時間を一緒に過ごさせてもらいました。保護者の方とお話していると、先の見えない子どもたちの成長に不安を感じたり、わくわくしたり、様々な想いを感じられていたように思います。それでも確かに、毎日一緒に過ごしていると見落としてしまいそうな小さな成長を、少しずつ、それぞれのペースで育てていたのです。日々成長していく子どもたちに教えてもらったことは、“大人が答えを出そうとしないこと” 答えがあると安心し、先が見えないと不安になります。それでも自分で考え工夫する子どもたちは、可能性を広げ世界を広げていけると思うのです。子どもたち、そして保護者の方と共に一緒に悩んだり考えた時間が、何か前進するきっかけになってくれていれば、と願っています。そして先のことに囚われず、目の前にあることを楽しむいぶきさんの心が羨ましく、ありのままの子どもたちの姿をこれからも大切にしたいと思う毎日です。

## ～ひかりぐみ～

ねらい：「だいち組になることに期待を持つ」

う た：「がんがん」「ありがとうの花」

たのしいかえでの日では、ひかり組になってからの1年間を先生や友達と振り返りながら、一人ひとりが様々な形で表現されていました。私自身も1人1人と改めて向きあい、クラスとして1年を振り返る機会になりました。子ども達と少しずつ関係を築いていく中で、子どもと一緒に経験し、考えながら学んでいく1年となりました。ひかり組で過ごす心地よさを感じながらだいち組への期待をもちつつ残りの1か月を過ごしていきたいです。

### “いいところ・すきなところ”

だいち組が卒園式の歌を歌っていると、ひかり組の子ども達もだいち組になることを意識する子どもが多くなりました。卒園式に向けてひかり組で集まることも増え、少しずつ話を聞く姿勢も先生を目を見て、しっかり聞くようになりました。みんなで集まった際に、「右隣の友達の好きなところ、いいところを言い合おう」というと「えー」大きな声を出す子どもたち。



隣の友だちを見て笑い合っていました。順番に一人ずつ聞いていると、「笑っている顔が好き」「一緒に遊ぶのが楽しい」など、その子どもが感じている友達への想いを感じたように思います。友だちの言葉を聞いていると、「私もそう思う」という声や「私は〇〇がいいと思う」などみんながいいと思うところを言い合うと、言われている本人は嬉しそうな笑顔を見せたり、「えー」と言いながら照れ隠しをしたりと様々な反応を見せてくれました。始めは「言うの恥ずかしい」という子どもが何人かいましたが、だんだん楽しくなり話が止まらなくなりました。異年齢で過ごす時間が多くありますが、ひかり組で過ごす時間も大切にしていきたいと感じると共に、友だちや先生との仲が深まった時間となりました。



### “ともだち”

絵画で“友だち”を描きました。ペアではなく、思い浮かぶ友だちを描けるだけ描きました。自然と普段から遊んでいる友達の近くに座り、楽しそうに話しながら描く姿が見られました。“ひかり組の友だち”とは言っていませんが、みんなが思い浮かぶのはひかり組のみんなでした。



一緒に描いているからという理由もあるとは思いますが、一緒に過ごす時間が長い分、子ども達の中で大切な友だちなのだと、絵を描く姿を見て思いました。以前友だちの好きなところ・いいところを話したからなのか、友だちの顔はどれも笑顔で、自分の好きな友だちの姿を描いているように感じました。友だちを描く姿と、描いてくれていると嬉しそうに眺める姿、どちらも微笑ましく思いました。

### “担任の思い”

様々なことを共に経験してきた友だちの好きなところ・いいところは、たくさん知っている子ども達ですが、本人に伝えるとなると恥ずかしくなり照れる姿が可愛らしかったです。喧嘩をした際に「もう嫌い」とすぐ口に出す子どももいますが、“好きな気持ち”や“ありがとう”などの気持ちを素直に伝えられる子ども達のまま成長してほしいと感じました。時には喧嘩をしたり、泣くことがあっても、友だちとぶつかり合いながらだいち組に向け成長してほしいと思います。

松岡 桃花

## ～だいちぐみ～

ねらい：周りへの感謝の気持ちを言葉で伝える

う た：「1ねんせいマーチ」「だいすきだったしるし」

### “忍者を探しに だいぼうけんの巻”



たのしいかえでの日に向けて自分たちが作ってみたいものを、作りあげていく中で、「成長発表会も忍者見に来てくれたし、きっとたのしいかえでの日も見に来てくれるよね。」と嬉しそうに話す子ども達。忍者や200年前の人たちが来てくれた時に、見てもらえるようにと思いを込めて作っていました。作品を作る際に、今までのことを振り返って何を作りたいか決める子もいて、成長発表会が終わった後に届いた巻物に「やまおくてしゅぎょうちゅう」と書いていたことを思い返していました。「富士山は遠すぎるなあ」「でも雪あそびに行ったとき、六甲山にはいなかったよね。」と相談が始まり、みんなで甲山に忍者を探しに行くことに決めました。バスに乗って甲山に着くだけでも嬉しそうな子ども達。いったいどこで修行をしているのかと、山のなかをどんどん進んでいきました。山の上の林の中で強い風が吹いてきたと思うと、木の陰に巻物と忍者の服が落ちていました。たのしいかえでの日にも忍者たちが見に来てくれたことを知って、とても嬉しそうにしていました。展望台まで登ると、空に向かって「にんじゃ、ありがとう～！」と一生懸命言葉にしていました。



### “自分で考える、伝える”

毎日一緒に過ごす仲間だからこそ、自分の思いが上手く相手に伝えることができなかつたり、意見が合わずにケンカになることもあります。今までは一緒に考えたり、話がまとまらない時は仲介をすることもありましたが、できるだけ自分たちで解決できるように見守ることが増えてきました。自分がされて嫌だったことや、自分がしてしまったことを言葉で相手に伝えることももちろんですが、なかには友だちの間に入って両方の意見を聞いて相談にのる子どもも出てきました。

「そうか…それは嫌だったね。〇〇ちゃんはどうしたかったの？」と問いかける姿はまるで小さな先生です。

4月を思い返すと、まだどこか他人事だったり、自分の思いをまっすぐ伝えることが難しい場面もありましたが、友だちのケンカに耳を傾けたり、意見を伝え合う姿を見ると、“仲間”としての意識が強くなってきているのだな、と感じます。お互いが納得するまでとことん時間をかけて話し合い、気持ちがすっきりすると、ケンカをしていたことが嘘のように、遊びはじめるだいち組でした。

### “担任の想い”

卒園まであと1ヶ月となり卒園式に向けての準備も少しずつ始まりました。準備を進める中で、今までのことを振り返ることが増え、時間の流れがあっという間に感じます。「入園してきたころ、まだまだ小さかったのに。」と言うと、「小さい時、かわいかった？」と嬉しそうに聞いてくる子ども達を見るとまだまだ一緒に過ごしたい気持ちが強くなります。ひとりひとりがたくさんの人に見守られ、大切に思われて過ごしてきた日々を自信に変えて、小学校でも過ごして欲しいです。一緒に過ごすことのできる残された時間を1日1日大切に過ごしていきたいです。

林 奈津美



## 保護者の方からのおはなしコーナー

始めはよく泣いて離れるのが嫌だったのが、今では自分から部屋に入れるようになり、成長を感じながらもちょっと寂しい気持ちに。次はどんな「遊び」を覚えて帰ってくるのか毎日楽しみにしています。

めばえ組 やすひろさん

最近、コマ回しにはまっているようで、家でもよく話してくれます。「逆さまに回せるようになった!」「今日は紐を使って回した!」などなど…。上手いかず、悔しい思いをすることもありますが、出来ない事に向かって果敢に挑戦していく姿がとても頼もしいです。今度はひかりさんになる息子! 頑張り! 応援してるよ!

いぶき組 ともみさん

いつも保育園にお迎えに行くと「お母さん!」と嬉しそうに駆け寄ってきてくれる息子。こんな嬉しそうに迎えてくれるのもあと少しなのかなと考えると寂しくなります。でも、今は「大学生になっても一緒に帰ろうね」と言ってくれます。

ひかり組 えみさん

妹が生まれ、いろいろ頑張ってくれているお姉ちゃん。「〇〇はママばかりずるいなー」と言いながらも、妹を抱っこしてくれたり、遊んでくれたりする優しいお姉ちゃんです。2人でキャッキヤして遊んでいる姿が今の私の癒しです。

だいち組 あやねさん

「もうすぐ幼児さんになるよ!」と得意気に妹に話す反面、人前や新しいことにチャレンジするのが苦手な息子が集団の中でやっていけるのか? 親は心配です。本当はずっと手を指し伸べてあげたい。一緒にやってあげたり。でも、今後どんな試練も乗り越えていかなければならないのが人生。少しずつ手を離して、見守っていかなければならないときが近づいているのを感じます。

いつも見守っているよ。失敗してもいいよ。たくさん泣いてもいい。でも頑張り! と手を離すときの見極めが難しいですが、親心共に少しずつ成長していきたいと思っています。

つぼみ組 ゆかさん

「園長先生が買ってくれた」と毎日書いて帰ってくるようになった連絡帳。いよいよ小学生になっていくのだなと親として感じる事が出来るものとなっています。時々出して下さる宿題を親としてはとても楽しみにしています。とても素敵な取り組みをまたして下さっていることに感謝です。いつもありがとうございます。

だいち組 ひとしさん

たまにお迎えの時に機嫌が悪く、何か思い通りにならない事があったのだろうと思って、詳しく話をしてくれない息子ですが、先日初めて家で泣きながら話をしてくれたことがありました。それが正解かどうか私には分かりませんが、伝えようとしてくれるその事がただただ母には嬉しかったです。

ひかり組 ゆみこさん

## ☆お台所から☆

少しずつ春の暖かい日差しを感じるようになってきました。早いもので今年度もあとひと月。小さかった子ども達が歩けるようになり、たくさんご飯が食べられるようになり…  
どんどん成長していく姿を間近で見ることができ嬉しい思いでいっぱいです。

### 2月の食育活動の様子

・たいちさんにとってかえで保育園で食べるご飯もあともう少しとなりました。そこでたいちさんにかえで保育園で美味しかったご飯、おやつを書いてもらいました。  
きつねうどん、コーンスープ、からあげ、手作りふりかけ、鮭の塩焼き、さわらの照り焼き、肉じゃが、豆腐ドーナツ、焼いも、みたらし団子などなど。これらのメニューは3月の献立に入ります。誰が何をリクエストしたのか随時お知らせします。お楽しみに！

#### ・節分の日

柊に刺さったいわし（魔除け）を見たり、大豆を炒る体験をしました。  
豆はたいちさんが前日に水につけるところからしてくれました。1日経ったものと比較して、大きく膨らんでる！白っぽくなってると違いをたくさん見つけていました。

### 3月に予定している食育活動

- ・菜の花
- ・絹さや、スナップエンドウのすじ取り

### 3月の献立で使う旬の食材

菜の花	スナップエンドウ	絹さや
いちご	ポンカン	デコポン

## <かえで保育園のおすすめレシピです♪>

### <白玉ぜんざい>

#### 【白玉粉の材料】

- ・白玉粉 200g
- ・水 180ml

#### 【ぜんざいの材料】

- ・小豆 400g
- ・砂糖 2l
- ・塩 小さじ1

#### 【作り方】

- ①小豆は水洗いし鍋に水を2l入れ火にかける。
  - ②沸騰したら煮汁を捨て再度水を入れ中火で炊く。
  - ③豆が柔らかくなったら砂糖を数回に分けて入れる。  
\*白玉はのどを詰めやすいので小さくしすぎず咬みちぎれるくらい
  - ④白玉粉に水を加え耳たぶ位の柔らかさになるまでこねる。
  - ⑤白玉を茹で浮き上がって1分程経ったら取り出し冷水で冷やす。
  - ⑥汁椀に注いだら完成。
- ☆夏は冷やしても美味しいですよ。





- 3月4日酒蔵見学は残念ですが中止といたします。
- 3月14日の卒園式は3月28日に変更して行います。
- その他の行事は現状に合わせて行っています。
- 来年度より体操服の着用を取りやめ園のTシャツを着用いたします。別紙でお知らせします。
- 3月23日より進級したクラスでの移行保育を行います。乳児はお子様の過ごす室内を変更します。
- ダンディタイムはよいこネットで連絡を行いますので登録してください（卒園の方も）

### こんなことしたよ♪

2月4日は子どもたちと相談して決めた節分の集いを行いました。「赤鬼と青鬼のタンゴ」を歌ったり節分の由来や風習を聞きました。豆まきでは、先生と鬼役の子どもたちも一緒に参加して行いました。最後はトラ模様の大きなパンツを鬼さんにプレゼントしたり節分の日を楽しめました。



2月8日はたのしいかえでの日を行いました。子ども達一人ひとりの好きな事、大切なこと、思い出が沢山詰まった作品展となりました。また、今年度は1年を通して楽しんだ「昔の世界」から、実際に団子屋さんもオープンしました。



## ★お願い★

- 感染症の防止対策でお知らせしましたお便りをもとにご協力ください。今後も情勢により保育の内容に変更がありますので、お便りや掲示物を必ず確認ください。
- 進級の準備として、持ち物の確認・傷んだ帽子の修理はお子様を確認いただき進めてください。
- 2020年度の延長保育は改めて申し込みをしていただきます。申込用紙を配布いたしますので3月末までにご提出ください。



### 3月予定

- 2日(月) 絵画(だいちのみ)  
保健師による巡回指導
- 3日(火) ひなまつり
- 4日(水) 酒蔵見学は中止
- 11日(水) 誕生日会
- 16日(月) 白鹿合同避難訓練  
降園時引取り訓練
- 17日(火) 移動動物園
- 18日(水) お別れ遠足 お弁当日
- 23日(月) 移行保育スタート
- 25日(水) お別れパーティー
- 28日(土) 卒園式

### 4月予定

- 1日(水) 入園・進級式
- 25日(土) 保護者会

